

第2回福岡県立公文書館運営専門協議会
第2回福岡県市町村公文書館運営専門協議会

平成26年12月5日(金)午後2時～
福岡共同公文書館2階会議室

次 第

1 委嘱状交付

2 開会

(1) 館長挨拶

(2) 委員等の紹介

3 議事

(1) 平成26年度上半期事業報告について

(2) その他

①第4回企画展「公文書でひもとく人々の暮らし～残された戦争の記録～」アンケート集計結果について

②市町村史編纂状況集計結果等について

③全史料協全国大会自由論題報告について

4 その他

5 閉会

福岡共同公文書館運営専門協議会委員

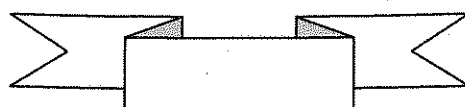
氏 名	現 職 名
<small>おおはま</small> 大濱 <small>てつや</small> 徹也	筑波大学名誉教授 独立行政法人 国立公文書館フェロー
<small>いしたき</small> 石瀧 <small>とよみ</small> 豊美	インタキ人権学研究所長
<small>おりた</small> 折田 <small>えつろう</small> 悦郎	九州大学大学院人文科学研究院 教授 九州大学大学文書館 大学史資料室長
<small>わたなべ</small> 渡邊 <small>ゆきこ</small> 由紀子	九州大学附属図書館 利用支援課長、准教授（兼務） 九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエ ンス専攻 准教授
<small>みのらは</small> 簗原 <small>あさみ</small> 亜佐美	(株) 西日本新聞社編集局国際部次長

平成 26 年度第 2 回

福岡共同公文書館

運営専門協議会資料

福岡共同公文書館



<平成 26 年 12 月 5 日>



目 次

I 平成 26 年度上半期福岡共同公文書館事業報告・・・1～4

II 平成 26 年度上半期福岡共同公文書館事業取組経過 5～6

I 平成 26 年度上半期福岡共同公文書館事業報告

1 受入・整理・保存事業

(1) 受入文書数 (単位: 冊) (9月30日現在)

ア 県文書

	搬入済	整理中	返還・廃棄	配架済
歴史公文書 (長期)	12,849	6,595	0	6,254
歴史公文書 (有期)	12,888	117	0	12,771
行政資料	19,157	0	0	19,157
合 計	44,894	6,712	0	38,182

イ 市町村文書

	搬入済	整理中	返還・廃棄	配架済
歴史公文書 (長期)	14,037	171	1,562	12,304
歴史公文書 (有期)	12,837	1,519	2,439	8,879
行政資料	1,905	0	0	1,905
合 計	28,779	1,690	4,001	23,088

ウ 総計

	搬入済	整理中	返還・廃棄	配架済
歴史公文書 (長期)	26,886	6,766	1,562	18,558
歴史公文書 (有期)	25,725	1,636	2,439	21,650
行政資料	21,062	0	0	21,062
合 計	73,673	8,402	4,001	61,270

(2) 文書移管状況

ア 県

4 機関 (13 機関中)

イ 市町村

56 団体 (58 団体中)

2 利用に関する事業

(1) 閲覧利用事業

ア 来館状況（9月30日現在）

年 月	開館 日数 (日)	来館 者数 (人)	来館者数平均 (人/日)	利用者数 (人)	
				展示室	閲覧室
平成26年 4月	25	52	2	37	28
平成26年 5月	23	99	4	84	70
平成26年 6月	25	207	8	55	35
平成26年 7月	26	123	5	78	39
平成26年 8月	27	754	28	751	161
平成26年 9月	23	188	8	185	53
合計 (平均)	149	1,423	(10)	1,190	386

イ 特定歴史公文書利用状況（9月30日現在）

年 月	利用請求										行政利用				合計			
	県				市町村				うち自治体 間利用		県		市町村		県		市町村	
	一般請求		簡易閲覧		一般請求		簡易閲覧		件数	冊	件数	冊	件数	冊	件数	冊	件数	冊
平成26年 4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成26年 5月	2	5	1	2	1	7	0	0	0	0	0	0	1	27	3	7	2	34
平成26年 6月	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	29	0	0	3	30
平成26年 7月	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	25	1	9	3	25	
平成26年 8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
平成26年 9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	64	1	1	2	64	1	1
合計	3	14	1	2	2	8	0	0	0	0	2	64	7	82	6	80	9	90

ウ 研修室利用状況（9月30日現在）

年 月	一般利用		視察対応		自主事業		その他		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
平成26年 4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成26年 5月	0	0	0	0	1	51	0	0	1	51
平成26年 6月	2	154	0	0	0	0	0	0	2	154
平成26年 7月	0	0	0	0	1	9	0	0	1	9
平成26年 8月	1	90	2	44	1	72	0	0	4	206
平成26年 9月	0	0	1	15	0	0	0	0	1	15
合計	3	244	3	59	3	132	0	0	9	435

エ 会議室利用状況（9月30日現在）

年 月	一般利用		視察対応		自主事業		その他		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
平成26年 4月	0	0	1	6	0	0	0	0	1	6
平成26年 5月	0	0	1	4	1	5	0	0	2	9
平成26年 6月	0	0	5	10	0	0	0	0	5	10
平成26年 7月	0	0	2	3	1	4	0	0	3	7
平成26年 8月	1	10	2	7	1	1	0	0	4	18
平成26年 9月	0	0	1	3	0	0	0	0	1	3
合計	1	10	12	33	3	10	0	0	16	53

オ レファレンスの状況（9月30日現在）

年 月	利用手段			合計 (A)+(B)+(C)
	来館・ (A)	電話 (B)	電子メール等 (C)	
平成26年 4月	1	4	3	8
平成26年 5月	2	3	1	6
平成26年 6月	2	4	0	6
平成26年 7月	2	1	0	3
平成26年 8月	2	8	0	10
平成26年 9月	2	8	0	10
合計	11	28	4	43

(2) 利用促進事業

ア 第4回企画展

テーマ：「公文書でひもとく人々の暮らし～残された戦争の記録～」

期 間：平成26年7月23日～平成26年9月28日

場 所：展示室

見学者：1,003人

イ 講演会の開催状況

第4回企画展に併せて、筑紫野市（西鉄筑紫駅）大牟田市等の上空から米軍機搭載のガンカメラにより撮影された空襲映像の上映と解説、アメリカ国立公文書館所蔵の映像発見に至るまでの活動に関する講演会を開催した。

テーマ：「物言わぬ語り部」～映像が語る あの戦争～

開催日：平成25年8月23日（土）

時 間：14時～16時

講 師：豊の国宇佐市塾 藤原 耕 氏

参加者：72名

ウ 広報

年報：平成26年6月 300部

企画展ポスター：平成26年7月 350枚

企画展チラシ：平成26年7月 3,800枚

平成26年7月23日～24日CSFで放送（企画展）。

平成26年7月24日読売新聞朝刊32面掲載（企画展）。

平成26年8月12日NHK「NEWS WEB」で放送（企画展）。

平成26年8月15日KBC「暮らしに+（プラス）」で放送（企画展）。

平成26年8月20日西日本新聞朝刊14面掲載（企画展）。

平成26年8月23日～24日CSFで放送（講演会）。

平成26年9月11日NHK大分放送局「しんけんワイド」で放送（講演会）。

エ 視察・見学の受入状況（9月30日現在）

年 月	件数	人数
平成26年 4月	2	8
平成26年 5月	1	4
平成26年 6月	6	11
平成26年 7月	3	6
平成26年 8月	4	51
平成26年 9月	2	18
合計	18	98

区 分	件数	人数
県内自治体職員	7	26
行政職員	6	24
公文書館関係者	0	0
その他	1	2
国・県外自治体職員	6	24
行政職員	5	23
公文書館関係者	1	1
議会関係者	0	0
教育・学校等関係者	1	4
図書館関係者	0	0
博物館関係者	1	4
学校関係者	0	0
区長等行政関係団体	0	0
その他	4	44
合計	18	98

Ⅱ 平成 26 年度上半期福岡共同公文書館事業取組経過

1-1 市町村の文書移管に関する取組経過 (H26. 9. 30 現在)

年月日	事項	内容
H26. 5. 15	第 1 回選別会議	○赤村、大任町、糸田町、嘉麻市、豊前市、朝倉市から移管された文書について二次選別を行い、選別会議において特定歴史公文書を決定
H26. 5. 22	歴史公文書の受入	○春日市、大野城市、那珂川町、大牟田市の歴史公文書を受入
H26. 6. 4	歴史公文書の受入	○飯塚市の歴史公文書を受入
H26. 6. 17	第 2 回選別会議	○柳川市から移管された文書について二次選別を行い、選別会議において特定歴史公文書を決定
H26. 6. 23	歴史公文書の受入	○大刀洗町の歴史公文書を受入
H26. 7. 15	第 3 回選別会議	○大牟田市、八女市、春日市、大野城市、那珂川町から移管された文書について二次選別を行い、選別会議において特定歴史公文書を決定
H26. 8. 7	歴史公文書の受入	○小竹町、水巻町、中間市の歴史公文書を受入
H26. 8. 26	歴史公文書の受入	○古賀市の歴史公文書を受入
H26. 8. 27	歴史公文書の受入	○柳川市、久留米市、小郡市の歴史公文書を受入
H26. 9. 2	歴史公文書の受入	○筑後市の歴史公文書を受入
H26. 9. 9	第 4 回選別会議	○大刀洗町から移管された文書について二次選別を行い、選別会議において特定歴史公文書を決定
H26. 9. 25	歴史公文書の受入	○筑前町の歴史公文書を受入
H26. 9. 26 10. 2	第 5 回選別会議	○筑後市、中間市、小竹町、飯塚市から移管された文書について二次選別を行い、選別会議において特定歴史公文書を決定

1-2 県の文書移管に関する取組経過 (H26. 9. 30 現在)

年月日	事項	内容
H26. 5. 15 5. 20	第 1 回選別会議	○新社会推進部、商工部、環境部の長期文書について、選別基準を決定
H26. 6. 10 9. 2	公文書の評価選別 (目録選別)	○平成 24 年度末保存期間満了文書について、県知事部局各課が作成した「廃棄／歴史情報一覧表」により評価選別を実施 (目録選別)
H26. 6. 17	第 2 回選別会議	○福祉労働部、秘書室、建築都市部の長期文書について、特定歴史公文書を決定

年月日	事項	内容
H26. 7. 15 8. 5	第3回選別会議	○保健医療介護部の長期文書について、特定歴史公文書を決定
H26. 8. 5 8. 12 8. 26	第4回選別会議	○農林水産部の長期文書について、特定歴史公文書を決定
H26. 9. 9 9. 17 9. 22	第5回選別会議	○総務部の長期文書について、特定歴史公文書を決定
H26. 9. 22 9. 26	第6回選別会議	○農林水産部の長期文書について、特定歴史公文書を決定

2-1 市町村への支援実績 (H26. 9. 30 現在)

	H21～25 年度※	H26 年度	計
市町村職員説明会	26	1	27
歴史公文書の評価選別(目録選別)	19	7	26
歴史公文書の評価選別(現物選別)	109	0	109
有期限保存文書	65	0	65
永年・長期保存文書	44	0	44

※ H21 年度～23 年度については行政経営企画課公文書館グループによる支援実績

2-2 県への支援実績 (H26. 9. 30 現在)

	H26 年度
文書事務担当者説明会 (行政経営企画課及び教育庁総務課主催)	2回
歴史公文書の評価選別(目録選別)	89 課(所)
本庁各課	89 課
出先機関	0 事務所
歴史公文書の箱詰め作業	延べ0 人日

3 文書移管時期 (H26. 9. 30 現在)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
市町村数	0	4	2	0	7	2	15
県	0	0	0	0	0	0	0

※ 複数回に渡って移管した市町村は、初回のみカウントした。

アンケート集計結果

【第4回企画展 公文書でひもとく人々の暮らし～残された戦争の記録～】

期 間 平成26年7月23日(水)～9月28日(日)

日 数	57		
観覧者数	1,003	回答者数	143
平 均	17.6	回 答 率	14.3%

<月別>	7月	8月	9月	計
日 数	8	27	22	57
観覧者数	67	751	185	1,003
平 均	8	28	8	18

<うち戦時資料展期間>

平成26年8月12日(火)～8月31日(日)

日 数	18
観覧者数	703
平 均	39.1

* =MAX

1 年齢	人	%
* ① 小学生	26	18.2%
② 中学生	6	4.2%
③ 中学卒業～19歳	1	0.7%
④ 20歳代	6	4.2%
⑤ 30歳代	23	16.1%
⑥ 40歳代	18	12.6%
⑦ 50歳代	21	14.7%
⑧ 60歳代	21	14.7%
⑨ 70歳以上	19	13.3%
その他(幼稚園)	2	1.4%
計	143	100.0%

2 職業	人	%
① 会社員	22	15.4%
② 自営業	7	4.9%
③ 公務員	23	16.1%
* ④ 学生	33	23.1%
⑤ 無職	31	21.7%
⑥ その他	26	18.2%
無回答	1	0.7%
計	143	100.0%

⑥ その他

- ・ 専業主婦 2
- ・ 主婦 2
- * パート 6
- ・ アルバイト 2
- ・ 市嘱託職員 1
- ・ 臨時職員 1
- ・ 派遣職員 1
- ・ 介護福祉士 1
- ・ 幼稚園生 1
- ・ 元公務員 1
- ・ 元会社員 1
- ・ 定年 1
- ・ 未記入 6

計 26

3 住所	人	%	人	%	人	%	人	%
* 県内	福岡地域	筑紫野市	77	53.8%	99	69.2%	118	82.5%
		太宰府市	17	11.9%				
		大野城市	3	2.1%				
		春日市	1	0.7%				
		那珂川町	1	0.7%				
		朝倉市	4	2.8%				
	筑後	福岡市	13	9.1%	132	92.3%		
		福津市	2	1.4%				
		小郡市	2	1.4%				
	筑豊	柳川市	1	0.7%	1	0.7%		
		大牟田市	1	0.7%				
	北九州	小竹町	2	1.4%	1	0.7%		
	福岡県	北九州市	1	0.7%	7	4.9%		
* 県外	大阪府	大阪市	2	1.4%	6	4.2%		
	埼玉県	川口市	1	0.7%				
	東京都	江東区	1	0.7%				
	東京都	文京区	1	0.7%				
	東京都		1	0.7%				
	無回答	5	3.5%	5			3.5%	
計	143	100.0%	143	100.0%				

4 何で知ったか	人	%
① ホームページ	5	3.4%
* ② ポスター・チラシ	87	59.2%
③ 家族・知人	23	15.6%
④ 会場	10	6.8%
⑤ その他	21	14.3%
無回答	1	0.7%
計	147	100.0%

※複数回答あり(2×4名 ∴143+4)

⑤ その他

* テレビ	9
・ 新聞	5
・ 広報誌	3
・ ケーブルテレビ	1
・ 文化会館	1
・ 記入ナシ	2
計	21

5 感想	人	%
* ① 参考になった	127	88.8%
② 参考にならなかった	2	1.4%
③ どちらともいえない	14	9.8%
計	143	100.0%

理由①(参考になった)

- ・公文書から見た戦争の様子がよく分かりました。
- ・戦時の人々の生活を身近なものに感じられた。
- ・戦争の悲惨さがよく分かる。子どもに見せたい。
- ・地元に住んでいて終戦の詔書を見ることが本当にびっくりです。
- ・公文書館を初めて見学したこと、戦前の公文書の有様を見れたこと。
- ・子どもが学校からもらってきたチラシが行きつけになりました。
- ・近くで企画展があるとのことで、子どもと一緒にきました。
- ・夏休みの宿題で、戦争の調べ学習があるので、よく知ることができた。

理由②(参考にならなかった)

- ・説明が不足している。
- ・あまりにも少ない展示で失望しました。

理由③(どちらともいえない)

- ・子どもたちにも理解しやすい展示物があったら、もっと良かった。
- ・漢字が多くて分かる所もあれば、分からない所もありました。

6 今後の展示に期待する(興味のある)テーマ

- * 戦争 14
- ・ 市町村合併 3
- ・ 産業 2
- ・ 交通 6
- ・ 歴史・くらし 9
- ・ 筑紫野市 6
- ・ その他 14 (人権関係、東京オリンピック頃(S39)、教育、選挙、公共イベントなど)

7 その他

(十)

- ・今後も企画展があればまた来たいです。
- ・夏休みにかけて非常に良い内容だと思った。

(一)

- ・もっと宣伝してほしい。
- ・展示物について等のパンフレットがほしいなと思った。パンフレットがあれば、宿題の役に立つから

(その他)

- ・史料の調査に協力をお願いしたい。(今後予定)
- ・帰省中で母と来ました。

文書保存対応について

1. 付箋及びクリップ等の取扱いについて

(1) 付箋の取扱い

○課題

付箋に使われている化学合成糊が文書保存に悪影響を及ぼすことが考えられることから、除去することが望ましい。

しかし、付箋をしていることは文書作成者の一つ意思表示とも考えられることから、除去するだけでよいのか検討する必要がある。

○他館の状況

別紙参照

○今後の対応(案)

原則、文字情報があるもの(内容も見て検討)はそのまま保存し、それ以外は除去する。

ただし、除去する場合に糊が強力なため除去すれば返って文書を破損するおそれがあると思われる場合はそのままとする。

なお、付箋を除去した場合に貼付していた糊が残り、文書に影響を与えると思われる場合は「あて紙」を貼付する。

上記の理由(考え方)

- ①付箋は担当者が決裁を受ける際に決裁権者の見やすさのためなどに使われることが多く、決裁後には意味をなさないものが多いため、文字情報のないものは除去する。
- ②中には決裁上の注意条項やその後の事業実施に関する事項が記入されている場合もあることから、文字情報のあるものについては、その内容も判断した上で、保存する必要がある。
- ③付箋の多くは、文字情報のないものであり、文字情報のあるものは数が少ない。また、付箋紙に使用されている化学合成糊の文書への影響も、どの程度かはっきり把握できていないことから、文字情報のある付箋についてはそのままとする。

(2) クリップ等の取扱い

○課題

クリップやホッチキス等に含まれる鉄分が錆びる可能性があることから、除去することが望ましい。

しかし、クリップ等は文書を一連のまとまりとして取り扱うことの意味表示があると考えられることから、除去するだけでよいのか検討する必要がある。

ホッチキスは大量に使用されており、除去する場合は相当量の業務量が生じる。

○他館の状況

別紙参照

○今後の対応(案)

クリップは原則、一旦除去し、金具部分等が直接、文書に当たらないように「あて紙」をした上から、再度クリップ留めする。

なお、その際、金具部分が錆などの劣化が激しいものは、新しいクリップで留める。

ホッチキスは原則そのままとするが、錆など劣化が激しいものは、ニッパ等で除去し、「あて紙」をした上からクリップ留めする。

上記の理由(考え方)

- ①クリップやホッチキスの金具部分は錆びる可能性があることから、文書に害を与えることが考えられ、すべて除去することが望ましいが、ホッチキスの数は相当数に上り、文書搬入する中ですべてを除去することは難しい。
- ②金具部分は錆びることによって、文書に悪影響を与えることが考えられるが、鉄が錆びるには湿度が大きく関与しており、一般的に湿度が65%を超えた場合に急激に進むといわれている。当館の保存庫は温度22～25℃、湿度55%を維持するように設計されており、現状で錆びていないものが保存庫で急激に劣化するとは考えにくい。
- ③一方、ホッチキスに比べ、クリップは数が少なく、また、その除去にも時間を要しないことから、除去することが可能であるが、除去後の文書を一塊とする必要があることから、一旦クリップを除去し、金具部分が文書に触れないように和紙をあて、再度、クリップ留めする。
- ④万一、長期保存により、保存庫で錆が出た場合でも、「あて紙」を換えることによって、文書への悪影響は回避することができる。

2 ファイリング文書及びドッジファイルの取扱いについて

(1) ファイリングされた文書の取扱い

○課題

文書が綴じられていないため、散逸することが考えられるので、どういった形式で保存するか検討する必要がある。

○他館の状況

別紙参照

○今後の対応(案)

散逸しないように封筒入れする。

上記の理由(考え方)

- ①個別ファイルに文書が綴じられていない状態であるため、利用(レファレンス)の際に散逸することが考えられることから、綴じることが望ましいが、現状で文書に綴じ穴がないため難しい。
- ②文書に綴じ穴を開けることなく、散逸を防ぐことができるよう封筒に入れる。

(2) ドッジファイルの取扱い

○課題

ドッジファイルには金属部分があるため、錆等による文書への悪影響が考えられる。

○他館の状況

別紙参照

○今後の対応(案)

原則、そのまま保存する。ただし、金具部分の錆など劣化が激しいものは紙ファイルに綴じなおす。なお、綴じなおす場合は、ドッジファイルも文書の一部として一緒に保存する。

上記の理由(考え方)

- ①ドッジファイルは比較的新しいものであり、錆などの劣化が激しいものが少なく、保存環境の良い当館の保存庫で保存した場合に錆が出る可能性が少ない。
- ②背表紙を付けたドッジファイルそのものも文書の一部と考えることができることから、すべて紙ファイル化することも適切ではないため、錆のないものはそのまま保存するものとする。

第2回福岡県立公文書館運営専門協議会
第2回福岡県市町村公文書館運営専門協議会

平成26年12月5日(金)午後2時～
福岡共同公文書館2階会議室

次 第

進行(佐藤副館長)

1 委嘱状交付(神谷副管理者、小原館長)

2 開会

(1) 館長挨拶(小原館長)

(2) 委員等の紹介(委員、事務局、オブザーバー紹介)

3 議事

(1) 平成26年度上半期事業報告について

(2) その他

①第4回企画展「公文書でひもとく人々の暮らし～残された戦争の記録～」アンケート集計結果について

②市町村史編纂状況集計結果等について

③全史料協全国大会自由論題報告について

事務局から(1)平成26年度上半期事業報告について及び(2)その他①第4回企画展「公文書でひもとく人々の暮らし～残された戦争の記録～」アンケート集計結果について及び②市町村史編纂状況集計結果等について及び③全史料協全国大会自由論題報告について報告及び提案を行い、協議の結果、了承を得た。

4 その他(佐藤副館長)

5 閉会(佐藤副館長)